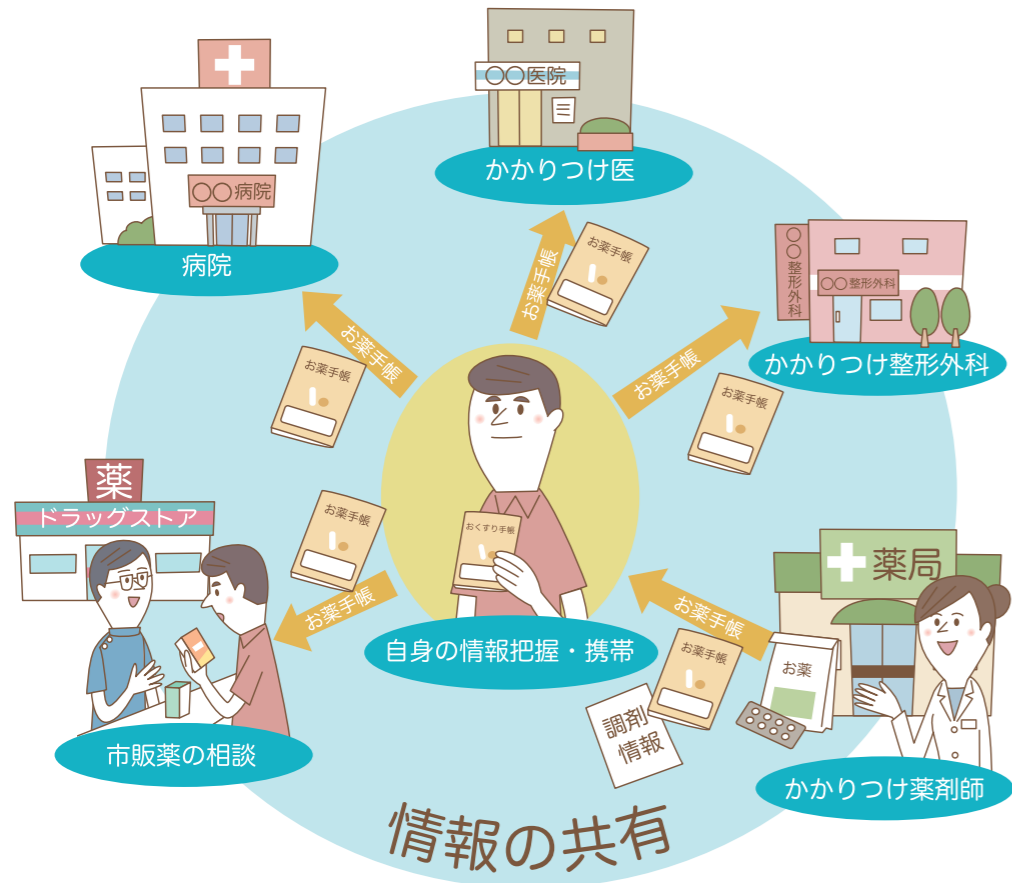


CASE 1 **異なる科目間での処方薬の重複** を避ける

「てんかん、水虫、がんの治療薬は併用禁忌の薬が多い代表格。また、脳梗塞や心筋梗塞の予防に使う抗血栓薬（血液をサラサラにする薬）は、消化管からの出血や脳出血のリスクを高めるため、症状や既往歴の情報を見極め慎重に処方しなければなりません。うつ病や睡眠薬でめまいが起きることもあります。異なる科目やセカンドオピニオンを受ける際は、お薬手帳を忘れないようにしましょう。ちなみに、複数科目を有する大病院で、カルテを科目間で共有することはほぼありません。お薬手帳を医師に見せるか、薬局でチェックしてもらいましょう」



こんな時に
お薬手帳
が活躍します

ドクターが教える! **病院** との **上手** な付き合い方

【お薬手帳の活用】

調剤薬局で処方箋を出すと、必ず聞かれるのがお薬手帳の有無。知っているようで知らないその目的について、総合内科専門医の團茂樹先生にお聞きします。

取材協力：ティーベック株式会社



監修 **團茂樹先生**

宇部内科小児科医院院長。総合内科専門医、医学博士。1982年日本大学第一内科大学院修了、カナダ州立オンタリオがんセンター留学、那須中央病院内科部長、千代田漢方クリニック院長を経て現職。東洋医学にも詳しく、ていねいなスクリーニングによる漢方薬の処方に定評がある。

© PantherMediaGmbH / amanaimages PLUS



患者本人が薬の役割を理解する助けにも

お薬手帳の **目的** と **変遷**

目的

- ☑ 飲み合わせや重複をチェックし、副作用のリスクを減らす
- ☑ 副作用歴、アレルギー、病歴などの情報を伝える
- ☑ 災害時や旅行時に発症した際、自分のお薬情報を正確に伝える

変遷

- 2000年** お薬手帳の制度がスタート。服用履歴を記載すると、薬局が薬剤服用歴管理指導料の一部として報酬を得られるように。
- 2012年** 上記報酬の請求にお薬手帳への記載が必須に。これを機に導入する薬局が拡大。
- 2016年** お薬手帳持参でかかりつけ薬局で処方してもらうと、はじめての利用およびお薬手帳なしの場合に比べて、患者が負担する管理指導料が約40円安くなる(3割負担の場合)。

現在、お薬手帳の利用状況は約7割※1。普段あまり病院のお世話にならない人にとっては、その必要性を実感する機会が少ないかもしれません。ところが高齢になると、複数の持病がある人が増加。日常的に、複数の病院でいくつもの薬を処方される人が多くなります(実際、75歳以上の約4人に1人が1ヶ月に7種類以上の薬を処方※2されています)。こうした高齢者の多剤併用には、処方薬の重複やさまざまな副作用のリスクが潜んでおり、厚生労働省も注意喚起をおこなっています。

「よくあるのは、内科で高齢の患者さんに胃潰瘍や腎臓病、むくみ、貧血、血圧上昇などが見つかり、その原因が整形外科で使われる消炎鎮痛剤だったという

ケース。また、患者さんが薬の名前を「血液をサラサラにする薬」のように、通称で覚えている場合も注意が必要。『血液をサラサラにする薬』は何種類かあるため、安易に別の薬と併用すると、思わぬ副作用が起きることもあるのです。いずれも、医師がお薬手帳を確認していれば、避けることができるケース。お薬手帳から得られる情報は、医師にとって大変重要なのです」

さらに、お薬手帳にはもう1つ大きな役割があると團先生。「お薬手帳は、過去の薬も含め、自分が飲んでいる薬の記録。病気への理解を深め、薬の効果に不安や疑問がある時には重要な資料になります。年齢にかかわらず、受診する時は必ず持参しましょう」。

※1 厚生労働省「平成25年度「薬局の機能に係る実態調査」(速報値)」
※2 厚生労働省「平成29年社会医療診療行為別統計」

CASE 2 **服薬時間や服薬回数** が合っていない時

お薬手帳は、薬の重複や副作用の防止に役立つだけではありません。「高血圧で転院してきた患者さんのお薬手帳を見た時、今まで飲んでた薬の服薬時間では、血圧がうまくコントロールできていないことがあります。その場合、服薬時間や回数をかえたら、症状が改善することも。少しでも得られる情報が多ければ、医師は次の手を打ちやすくなります。その意味でも、お薬手帳は重要な役割を担うのです」。

CASE 3 **胃カメラ検査の前に申告すべき服薬がないか** チェックする

「胃カメラ検査の際、脳梗塞や心筋梗塞の再発を防ぐ『血液をサラサラにする薬』を服用していると、出血が止まらなくなることが。また、組織を採取して精密検査をしようにも、うまく切り取れないことも。そのため、薬によっては数日から2週間程度、服薬を中止する必要があります」。医師か薬剤師に、事前にお薬手帳を見せると安心です。特に、複数の持病があり服薬数が多い人、ジェネリック医薬品を服用している人は、必ず確認してもらいましょう。

電子版お薬手帳も登場

スマートフォンの普及にともない、新たに電子版のお薬手帳も。従来の紙のお薬手帳に比べて、かさばらない、複数冊に分かれることがない、家族分が1つにまとめられる、などのメリットがあります。バッテリーが切れると閲覧できないというデメリットはありますが、時代のニーズにより合った方式として、政府も普及に力を入れています。